

【できるといふこと】

	1年	2年	3年	平均
6. 掃除や係活動によく取り組んでいる。	74%	64%	74%	71%
7. 服装や持ち物など、学校の決まりを守っている。	80%	84%	80%	81%
8. その場や相手にふさわしい言葉遣いやあいさつができる。	73%	70%	73%	72%

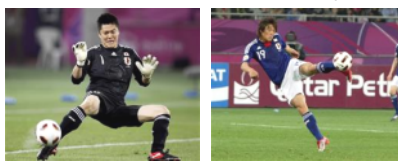


生徒用学校評価アンケートの中の、学校生活についてのアンケート集計の一部です。数字を見ると『まずまず頑張っている』ように思えるけれど、ちょっと待てよ。自分たちが使ったところを“掃除”することは当たり前。集団の“決まり”を守るのも当たり前。“正しい言葉遣いや挨拶”は社会人の常識。ならば、『意識していなくても自然にできている。』という状態が一番良いのですね。まずは、『自分が“やろう”と思えばできる。』と言いながら、**実は何もできてない人を減らしましょう。**お互いに声を掛け合うことが必要です。いずれの項目も100%を目ざしましょう。どの学年が早く100%に近づけるか、楽しみにしていますよ。ところで、3年生は入試を前に面接練習を行っています。“面接(入試)”という場面を意識して”服装や言葉遣いを改めています。良いことなのですが、意識せずとも当たり前のこととして、正しい服装や言葉遣い、あいさつができるようになりましょう。



【サッカーアジア杯優勝】

手に汗握る激戦を制し、日本代表が4度目のアジアの頂点に立ちました。後半から延長にかけて、ピンチの連続をしのぎ、延長前半9分から交代で入った李忠成選手が、延長後半4分に決勝ゴールを決めました。交代で入った選手たちが持ち味を生かし、本当に活躍したことがまさに“全員で勝ち取った勝利”だったと思えました。ザッケローニ監督も『この大会は本当に大変だった。先制される戦いや、10人での戦いとかを引き分けではなく勝ち切ることができた。そこにはベンチのメンバーの力が非常に大きい。チームとして戦ってきたと思っている。』と語っています。



川島選手

李選手

チーム力とは、選手個人個人の力量の単純な足し算ではないのですね。選手同士の高め合い励まし合いや、監督の選手の持ち味を生かす采配・ゲーム運びなどが、100の力を120にも130にも高めるのだね。

大成中のチーム力、もっと高めたいな。

【駅伝大会&演劇発表会】

1月22日、快晴の武庫川河川敷で、駅伝の市内大会が行われました。大成中は、男女陸上部チームに加えて、野球部が2チームを編成して参加しました。風は冷たいものの日差しは暖かく、選手たちは精一杯の走りを見せてくれました。期待通り陸上部チームは男女とも中位～上位に入りましたが、なんと野球部チームもなかなかの好成績で、他校の陸上部に負けてはいませんでした。よく頑張りました。



(力走する陸上部)



(野球部激走)

22日の午後からは、尼崎市児童生徒文化発表会が、ピッコロシアターで行われました。創部1年の演劇同好会も初参加しました。“シンデレラストーリー@関西”という劇で、場内を爆笑の渦に巻き込みました。長いセリフをよく覚え、よどみなく演じきった皆さん、すばらしい。拍手!!



【情報というもの】

東京高等裁判所で、都立高校の先生の『君が代の際に斉唱したり伴奏したりすることを、都が教師に命ずることは、思想・良心を保障した憲法に違反する。』という訴えに対する判決が出た。判決は、いくつか理由を挙げて憲法に違反しないと結論づけた。A新聞社説では『式典で国旗を揚げ国家を歌うことに反対するものではないが、処分を科してまで強いるのは行き過ぎだ。』とする立場で判決に疑問を呈した。Y新聞社説では『公務員として、法令通り国旗国歌を指導するのは当たり前である。』とし、判決を支持している。『社説』なので、それぞれの新聞社の考えや立場をより鮮明に出しており、正反対といってよい内容だ。改めて、情報には“事実”と“情報の送り手の意思”が入り交じっていることを思う。“情報の送り手の意思”に惑わされることがないようにしたいね。

